

平成20年 第11回 県教育委員会会議
教 育 長 報 告

1 報告事項

第90回全国高等学校野球選手権記念大会について

2 事項の説明

- (1) 期 間 平成20年8月2日(土)～8月18日(月)
- (2) 場 所 阪神甲子園球場
- (3) 本県代表校 県立浦添商業高等学校(11年ぶり3度目の出場)
- (4) 試合結果 [県勢としては、11年ぶりのベスト4]
- 1 回 戦 (8月 4日) 浦添商業 7 : 0 飯塚(福岡)
- 2 回 戦 (8月10日) 浦添商業 12 : 9 千葉経大付属(西千葉)
- 3 回 戦 (8月14日) 浦添商業 3 : 1 関東一(東東京)
- 準々決勝(8月15日) 浦添商業 4 : 3 慶応(北神奈川)(延長10回)
- 準決勝(8月17日) 浦添商業 4 : 9 常葉学園菊川(静岡)

* 今大会を振り返る

- ・一回戦、県代表校浦添商業対飯塚(福岡)との九州勢同士の戦いは、7-0で浦添商業が制し、勝利を挙げた。浦添商業は3, 5, 7回に得点を重ね、危なげない試合展開で勝利で初戦を突破した。
- ・二回戦、強豪千葉経大付属(西千葉)との対戦は、3回迄に10点を奪い、その後の反撃を抑え、勝利した。
- ・三回戦、浦添商業は3-1で関東一(東東京)を下して接戦を制し、県勢としては11年ぶりのベスト8入りした。
- ・準々決勝は、慶応(北神奈川)との一戦は、一点を争う好ゲームとなり、9回裏のピンチをしのいだ浦添商業が先頭打者の三塁打と、その後スクイズで決勝を入れ、延長10回の熱戦を4-3で制し、県勢の夏の準決勝進出は、同校以来11年ぶり6度目。
- ・準決勝は、常葉学園菊川(静岡)と対戦し、2回に1点先制するも、その裏大量9点を失い、その後の反撃も及ばず、4-9で敗れた。県勢の1991年の沖縄水産以来、17年ぶり3度目の決勝進出はならなかった。